

社会教育委員会議 令和7年5月定例会 会議録

- [事務局] 伊勢原市教育委員会教育部社会教育課  
[開催日時] 令和7年5月30日(金)午後3時30分～午後5時30分  
[開催場所] 伊勢原市立中央公民館3階 会議室A  
[出席者] 古里委員(議長)、石塚委員(副議長)、白鳥委員、岩崎委員、板倉委員、  
(委員) 杉山委員、園山委員、久保蘭委員、鶴田委員、細谷委員、臼井委員、  
宮林委員  
(事務局) 宮村教育長、熊澤教育部長、立花歴史文化推進担当部長兼教育総務課歴史  
文化担当課長、林教育部参事兼図書館・子ども科学館館長、青木社会教育  
課長、坂本社会教育係長、岩田主事  
[公開の可否] 公開可  
[傍聴者数] 0名

[審議の経過]

- 1 開会 … 社会教育課長
  
- 2 委嘱式等
  - (1) 委嘱状交付
  - (2) 教育長あいさつ
  - (3) 自己紹介
  - (4) 事務局職員の紹介
  - (5) 正副議長(正副委員長)選出
  
- 3 議 事
  - (1) 報告事項
    - ①伊勢原市教育委員会(社会教育関係)の概要について
    - ②地域学校協働活動推進事業の進捗状況について
  
  - (2) 協議事項
    - ①伊勢原市図書館協議会委員の推薦について
    - ②伊勢原市民生委員推薦会委員の推薦について
    - ③社会教育委員会議研究テーマについて
  
  - (3) その他
    - ①「2025子ども読書フェスタ」「子ども科学館フェスティバル2025」の開催結果について

#### 4 会議要旨

議 長            それでは（１）報告事項の①伊勢原市教育委員会（社会教育関係）の概要について、事務局から報告をお願いいたします。

事務局            配付資料に基づき、伊勢原市教育委員会（社会教育関係）の概要について報告。

##### **○伊勢原市教育委員会（社会教育関係）の概要について【資料１】**

議 長            ただいま、事務局から報告のあった内容について、御意見、御質問等があればお願いいたします。

委 員            今年度の社会教育主事の発令は何名ですか。

事務局            教育委員会で発令されている者は1名です。

議 長            他にいかがでしょうか。

                  それでは続いて②地域学校協働活動推進事業の進捗状況について、事務局から報告をお願いいたします。

事務局            配付資料に基づき、地域学校協働活動推進事業の進捗状況について報告。

##### **○地域学校協働活動推進事業の進捗状況について【資料２】**

議 長            ただいま、事務局から報告のあった内容について、御意見、御質問等があればお願いいたします。

委 員            〈質疑なし〉

議 長            それでは、（２）協議事項の①伊勢原市図書館協議会委員の推薦について、事務局から説明をお願いいたします。

事務局            配付資料に基づき、伊勢原市図書館協議会委員の推薦について説明。

##### **○伊勢原市図書館協議会委員の推薦について【資料３】**

議 長            ただいま事務局から説明のありました内容について、御質問等ございましたら御発言をお願いいたします。

委 員            図書館協議会委員の推薦依頼は、社会教育委員会議にされているので、任期が満了する前に辞めた場合はどうなりますか。社会教育委員を辞めた場合は、次の人を選んでいくのが一般的だと思いますが、いかがでしょうか。

事務局            会議のタイミングもありますが、任期途中で交代しなければいけないというようなことになった場合、手続き上はまず辞職していただき、社会教育委員会議の方から新たに御推薦をいただくこととなります。例えば、校長先生は1年交替が多いので、変更になった場合は、新たに御推薦をしていただくこととなります。

- 議 長 他に質問はありますか。ないようでしたら、どなたか推薦はありますか。ないようでしたら、事務局はいかがでしょうか。
- 事務局 事務局としては、板倉委員に引き続きお願いできればと考えています。
- 議 長 事務局から、板倉委員にお願いしたいということですが、いかがでしょうか。
- 委 員 異議なし。
- 議 長 それでは、板倉委員を推薦することにしたいと思います。  
続きまして、(2)の②伊勢原市民生委員推薦会委員の推薦について、事務局から説明をお願いいたします。
- 事務局 配付資料に基づき、伊勢原市民生委員推薦会委員の推薦について説明。  
**○伊勢原市民生委員推薦会委員の推薦について【資料4】**
- 議 長 ただいま事務局から説明のありました内容について、御質問等ございましたら御発言をお願いいたします。
- 委 員 補足ですが、民生委員の一斉改選の年度は会議を開催しますが、あとは欠員等の場合、その審査は持ち回りのみになると思います。
- 議 長 ありがとうございます。それでは、どなたか推薦はありますか。ないようでしたら、事務局はいかがでしょうか。
- 事務局 事務局としては、鶴田委員にお願いできればと考えています。
- 議 長 事務局から、鶴田委員にお願いしたいということですが、いかがでしょうか。
- 委 員 異議なし。
- 議 長 それでは、鶴田委員を推薦することにしたいと思います。  
続きまして、協議事項(2)の③社会教育委員会協議研究テーマについて、今期の社会教育委員会協議で何を研究テーマとし、活動を進めていくかということについて協議したいと思います。  
本日はフリートークで、皆さんから御意見やアイデアを出していただき、9月の定例会に向けてテーマを決めていくという流れを考えています。
- 議 長 **○提言書に基づいて説明**
- 議 長 御意見はいかがでしょうか。

- 委員 呼び水のつもりで、発言させてもらいます。  
今の課題は、地域のつながりの希薄さだと思います。例えば、防災など住民同士のつながりが薄くなっており、地域の住民同士の希薄さが社会教育を進めていく上で一つの課題だと思います。  
例えば、コミュニティスクールにしても、どういうイベントをやるかが先行しています。昔は子どもが多く、子どもを通じて学校と家庭が結びついていたように思いますが、最近は少子高齢化で子どもが減り、地域と学校との結びつきが薄くなっています。住民同士のつながり、地域のコミュニティをどうするかが課題だと思います。
- 議長 ありがとうございます。地域のつながりの希薄さが課題という問題提起でした。他にはどうでしょうか。
- 委員 先ほどの地域学校協働活動推進事業について、なぜ令和7年度の重点施策になったのか、もう少し説明をお願いします。
- 事務局 この事業は、市全体で考えていかなければいけない事業として、昨年度の市長ヒアリングから重点施策として格上げされてきたものです。まだ名前が浸透していない部分もあるので、今後、周知を図りながら市として事業を推進していきたいと考えています。
- 議長 いかがでしょうか。
- 委員 中学校の部活の指導者の移管の話ですが、文部科学省からの話や他市では具体的な取組があるようですが、受け皿である指導者が見つからないということもあるようです。教育委員会や市長部局と連携して取り組んでいかなければいけない問題だと思います。
- 議長 ありがとうございます。
- 事務局 提言書にも、中学校部活動について御指摘をいただいております。国では、来年度までの3年間を推進重点期間として新たなとりまとめがされて、さらに6年間で、休日については中学校の部活動を地域へ移管するということがありますが、本市においては、長年、中学校の先生方が頑張ってきた。基本的には中学校の先生方が、今までどおり部活動をみているという状況です。御指摘のとおり、何の議論もしないで今の状況が続くというのは好ましくないと考えていますので、検討会を開催していきたいと考えています。  
種々の検討が必要であり、地域移管ありきではなく、今の現状を続けていくという選択肢を含めて検討していくべきだと考えています。国や県の地域移管していくという方向で検討を進めるということではなくて、今後、10年、20年、中学校の部活動をどのようにしていけば持続可能なのかということを検討していくことが必要だと考えています。確かに中学校の教員ならではの熱心な指導もありますが、かなり厳しいという教員もいると思います。そうした声も大事にしながら、幅広のメンバーで、地域移管の受け皿の問題なども検討し、中学生が学校や地域で自分の好きなスポーツとか文化活動が

続けられる環境を持続させていくことが大切だと考えています。そのため、この会議の中で議論することはなじまないと感じています。

議 長           ありがとうございます。他にございますか。

委 員           長い間、アマチュアレスリングに携わってきましたが、小学生は大会がありました。中学校は学校のクラブ組織がないと参加できない。大会に参加できないとやめてしまう子がいました。そういうスポーツもあります。

また、先ほどの防災は必要なことですが、隣近所が希薄になっています。サポセンまつりなどの市のイベントも予算に格差があったり、行政の縦割りの弊害もあります。

地区体育祭にしても、子どもも減っていて、地域だけでやっていて、市のスポーツ課との関連が見受けられません。行政を含めた地域の教育を考える必要があると考えます。

議 長           ありがとうございます。アマチュアレスリングについては、部活動の地域移管を考える上での一つの課題として取り上げる方向性かなと思いました。

あと、防災とか祭りとかは、地域の人とのつながりが希薄化しており、その人のつながりを作り直していくことを議論する話かなと捉えました。

委 員           地域の活性化が必要で、例えば、南海トラフ地震なども30年以内に来るとかも言われていますが、地域とのつながりが薄れていて、先日、岡崎で高齢者のミニサロンという集まりがありましたが、参加者も減り、婦人会もなくなってしまっています。これを以前のように活性化させることが課題です。

社会教育の観点から、社会教育委員会の方で何か取り組んでいけたらと思いますし、先ほどのセクシャリティの問題は取扱いが難しいと考えます。一人一人の人権、個性などを深掘りしていった国でも、たくさんトラブルが起きています。デリケートな問題ですので、この会議で取り上げるのは難しいと思います。

議 長           ありがとうございます。地域とのつながりをいかに作っていくのか、地域の活性化という部分の課題であり、セクシャリティを取り上げるのは難しいのではという御意見でした。

委 員           フリースクールを立ち上げることになりました。昨年度200人ぐらいの小・中学生の不登校のお子さんがいらっしゃるということが問題となって、民間でも何かできないかということが発端なんです。行政でも民間でもできることをやっていく。例えば、成瀬小学校の夏休みの教室とか、石田小学校の活動とか、それぞれのところでそれぞれの形が生まれると思うので、本市の取り組んでいる社会教育的な、あるいは地域と学校の連携になるのかなと思います。学校教育をお手伝いできる立場の社会教育として取り組んでみる必要があるのかなと思います。

議 長           ありがとうございます。

委 員           今年もサマースクールをやります。夏休みの前半4日、後半4日、それとは別に不登校の子とは限らず、誰でも参加できるようなスクールもやります。

また、週2日間、成瀬小学校で学習支援をしています。多くの子が参加しており、昨年卒業した中学1年生の子もきます。

一方、高齢者も増えてきており、災害時の心配や一人暮らしも増えてきて、認知症の方もいます。地域のつながりは、すごく大事だと思っています。

議長 ありがとうございます。他はどうでしょうか。

委員 学校に来れない子もいて、何とか支援をしたいと考えています。なかなか連絡が取れない御家庭もあり、いろいろな方法で支えたいと考えています。朝、ご飯を食べてこない子も多くなっており、家庭が支えられ、家庭を支えるにはどうしたら良いか、最近考えています。

また、部活動が地域移行になった時は、交通費や物品を揃えなければならないなどの課題があります。ただ、学校の部活は、できるだけみんなが参加できるようにということで、学校にいれば参加できるということもあるので、教育長もおっしゃられたように、そのあり方をどうしていくかってところが肝になると思います。

議長 ありがとうございます。他の委員はどうでしょうか。

委員 前任の比々多小学校では、結構、地域の方に学校に入ってもらい、学習が厳しい、学校や教室にいるのが厳しいという子どもに声をかけてもらったり、一緒に遊んでもらったりしていました。今の石田小学校でも地域の方がいるのが当たり前になるといいと思いますが、逆に、子どもの安全っていう部分が大きなハードルになってきまして、お互いに顔を知っていることが重要だと思います。お互いに顔見知りになって、地域の方同士も顔見知りになって、子どもが外で悪いことをした時、叱っていただき、子どもはごめんなさいと言っていくみたいな、微笑ましい姿になったらいいなと思います。

議長 ありがとうございます。

委員 皆さんが地域や防災を真剣に考えているんだなと感じました。自分は文化団体連盟に所属していますが、コミュニケーションが大事だと思います。

また、市立図書館では、読書マラソンということをやっており、うちの子どもたちも表彰され、すごく喜んでいました。活字離れの時代に、本を読むってすごく知らず知らずのうちに知識が入ってくるような、まさに社会教育的な考え方だと思います。

議長 ありがとうございます。他の委員はどうでしょうか。

委員 地域のつながりは大切で、地域のつながりをどう持っていくか、深掘りしていけないといけない課題だと感じました。

それと、中学校の部活動ですが、スポーツ協会でも2年前にそういう話はありませんでしたが、人のやりとりまでは進んでいませんでした。小さい頃からやっていて、小学生、中学生と継続的にできるいいと思います。

また、地域のコミュニケーションも大事で、そういったことを研究テーマにしていけないといけないと思いました。

委員 今年は、地域学校協働活動にスポットを当てて活動できたらと思います。この委員に桜台小学校の方がいないのは残念ですが、地域づくりにもこの制度は役立つと思います。学校運営協議会と地域学校協働活動というものが、車の両輪として進んでいくことによって、win - win の関係になるはずだったんです。今、「こどもまんなか社会」と言えないような実態があり、例えば、朝、親が先に出かけ、30分後に子どもが家の鍵を閉めて学校へ登校するという実態もあります。

児童コミュニティクラブも高学年が入所できない状況にあり、保育園も待機児童がいます。特に、0～1歳児は激戦区で待機児が多いと聞きます。

主任児童委員をしていますが、個人情報に関係もあり、なかなか新生生の数や名簿を得ることが難しくなっています。もう少し風通しが良くなると思います。

議長 ありがとうございます。

委員 そのために社会教育をやるのではなく、社会教育活動を通してそれをやったら社会活動をやったがゆえに、地域づくりにつながったとか、何につながったってというような形にしていくことが社会教育委員として議論していくべきことだと思います。社会教育本来の姿、教育本来の姿というものを通して、それにつながっていったらいいという基本的な考えは持ち続けていきたいと思っています。

議長 ありがとうございます。全員に御発言をいただきました。今日、御意見をいただいたものを整理し、9月定例会で研究テーマなどを決めたいと思いますので、よろしく願いいたします。

続きまして、(3)の①「2025子ども読書フェスタ」及び「子ども科学館フェスティバル2025」の開催結果について、事務局から説明をお願いいたします。

事務局 配付資料に基づき説明。

**○「2025子ども読書フェスタ」「子ども科学館フェスティバル2025」の開催結果について【資料6】**

議長 ただいま事務局から説明のありました内容について、御質問等ございましたら御発言をお願いいたします。

委員 〈質疑なし〉

議長 それでは、他に何かございますか。

事務局 配付資料に基づき、「関東甲信越静岡社会教育研究大会神奈川県大会」について説明。

**○「関東甲信越静岡社会教育研究大会神奈川県大会」【資料番号なし】**

議長 御質問等ございましたら御発言をお願いいたします。

委員 〈質疑なし〉

議 長 他にはよろしいでしょうか。これをもちまして本日の議事は終了いたします。これからの進行は事務局をお願いいたします。

事務局 これで本日の日程はすべて終了いたしました。閉会にあたりまして副議長から一言御挨拶をお願いいたします。

副議長 閉会の辞

以 上